

大学院で化学を専攻した三旺代表がアトピーを患い、克服に至るまでのストーリー

## 私のアトピー履歴 「アトピー克服までの道のり」

### 第41章 自然の世界から見て学ぶこと。畑編 <sup>パート</sup>1

#### 畑が教えてくれた「タネといのちのしくみ」

私は30代前半、田んぼ農家さんのお手伝いを通して「水と土が生命を育てる世界」を学ばせてもらいました。その後、30代半ばで知り合いから小さな畑が借りられることになり、家族でタネを買い、無農薬の野菜づくりに挑戦したのです。育てたのはオクラ、枝豆、ミニトマト。そして苗から始めたさつまいもです。また選んだタネは、スーパーなどで売られている種子消毒済みの“F1種”ではなく、昔から土地に受け継がれてきた“在来種”でした。

#### ■ F1種とは何か？

F1種とは、農家さんが育てやすく、流通もしやすいように品種改良されたタネのこと。畑にまくと一定期間で揃って芽が出て、どの株もほとんど同じ形・同じ大きさに育ちます。収穫時期も揃い、形や色も均一。大量流通には欠かせない存在です。皆さんも子どものころ、八百屋のトマト売り場に大小さまざまの形のトマトがあったのを覚えていませんか？今では「きれいすぎるほど同じ形」のトマトが並びますが、これもF1種によるものです。F1とは Filial 1 (フィリアル・ワン) の略で、F=子孫世代、1=第一世代という意味です。



植え付けたばかりのサツマイモの苗。  
自然の息吹は土の中から始まります。

#### ■ 畑で気づいた「自然の姿」

F1はとても便利なタネです。しかし、畑で作業をしていると、自然には、「全く同じ形」というものは存在しないということに気づきます。しかもF1の野菜、たとえば市販で売られているトマトから種を取り出して育てても、必ずしもトマトは育たないと言われています。その背景には、“雄しべ”がなくても実を結ぶ「雄性不稔」の性質など、特殊な交配技術が利用されているためです。その“少し不自然な感じ”に疑問を覚え、私が意識するようになったのが“在来種”でした。在来種とは、何十年・何百年とその土地で栽培され続け、気候・土・微生物など、地域固有の環境にゆっくりと適応してきたタネのことです。

#### ■ 在来種を育ててみると…

その一方で在来種を育て始めて驚いたのは、F1とは違う世界が見られることでした。まず芽がそろって出ません。それぞれが自分のペースを大切にしながら、「今だ」と思ったタイミングで顔を出してきます。形も大きさもまちまち。でも、この“ばらつき”こそが自然の姿なのではないかと思えます。さらに驚いたのは、味と香りの濃さ。畑にただで「トマトだ!」と分かるほどの香りが漂い、ミニトマトは昔どこかで食べた懐かしい味わいがありました。在来種には、F1にはない“個性”がありました。



アトピーに悩んでいた時の弊社代表

## ■ 在来種は「つながるタネ」

在来種の魅力は、味が良いだけではありません。タネが採れ、そのタネをまたつなげることができること。つまり私が育てたトマトの種をまた翌年植えれば、次のトマトが普通に育ちます。そうやって土地の記憶を毎年少しずつ引き継ぎながら、年々その環境に合ったくましい姿に進化していきます。化学肥料や農薬に頼らなくても、その土地に馴染んだ野菜は自然と強くなる。これこそ、タネが持つ“自然の中で育まれた適応力”であり命の循環”だ”と思うのです。



色も形もそろわない、畑で育つミニトマト。  
この“ばらつき”こそ自然の姿。

## ■ F1種と在来種は

### どちらが優れているのか？

#### F1種のメリット

- ・形が揃う
- ・収量が多い
- ・栽培管理がしやすい

#### 在来種のメリット

- ・味・香り・栄養が豊か
- ・土地に適応する力が高い
- ・タネを採ってつなげる「循環」がある

どちらが“正しい”のではなく、どちらにも役割があり、どちらにも価値があります。

タネの違いを知ることで、食べものとの関わりを見直すきっかけになり、これからの未来にもつながっていきます。

## ■ 自然の教え：「循環」こそ本来の姿

畑を通じて強く感じたことは、田んぼと同様、自然の基本は「循環」であるということです。

タネを採り、またまき、また育ち、また実り、またタネを採る。この当たり前の営みの中に、植物本来の生命力が宿っています。F1種の“均一性”も、在来種の“多様性”も、どちらも「食」と「健康」を考える上で大切な視点です。そして私たち人間もまた、自然の循環の一部であることを畑は静かに教えてくれました。

「タネからタネがつながる“在来種”」と「タネからタネがつけにくい“F1種”」。命を育むとしたら、どちらがより自然だと感じるのでしょうか？ぜひチャンスがあればお野菜を育ててみてください。タネの違いが、“自然のしくみ”をそっと教えてくれます。

### 編集後記

今年も最後の月となりました。寒さが深まり、部屋に籠りがちですが、動かないと頭と同じく足腰の機能も落ちてしまいます。会食の多い時期ですので、私もウォーキングを心掛けたいと思います。どうぞ良いお年をお迎えくださいませ。小谷

株式会社 三旺コーポレーション

住所	東京都港区麻布十番 2-8-14 2a
電話	03-3769-7538
FAX	03-3769-7539
WEB	<a href="https://sanoh-corp.jp/">https://sanoh-corp.jp/</a>
メール	<a href="mailto:info@sanoh-corp.jp">info@sanoh-corp.jp</a>
受付時間	10:00 - 17:00

HPをチェック!

